



## 1. マーケット・レート

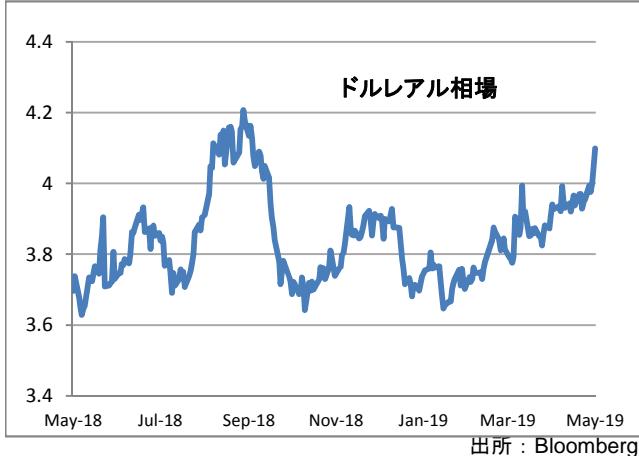
			5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9940	3.9750	4.0020	4.0460	4.0990	+0.0530
	BRL/JPY	Spot	27.37	27.58	27.39	27.15	26.87	-0.28
	EUR/USD	Spot	1.1223	1.1204	1.1202	1.1176	1.1159	-0.0017
	USD/JPY	Spot	109.31	109.63	109.59	109.85	110.07	+0.22
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.401	6.396	6.407	6.419	6.435	0.016
	Future	1Year(p.a.)	6.499	6.444	6.470	6.515	6.559	0.043
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.368	3.374	3.355	3.351	3.412	+0.061
	USD	1Year(p.a.)	3.494	3.508	3.502	3.542	3.657	+0.115
株式	Bovespa指数		91,726.56	92,092.44	91,623.44	90,024.50	89,992.75	-31.75
CDS	CDS Brazil 5y		176.29	175.06	176.71	180.77	184.70	+3.94
商品	CRB指数		177.641	179.991	180.655	182.325	180.989	-1.336

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは、国内政治経済の不透明感、及び米中通商問題に伴うリスクオフを受けて一時選挙前(2018年9月)以来となる4.11台まで下落。
- 13日(月)のレアルは3.9770で寄り付き、週前半に週間高値3.9680を付けた。その後は経済活動ペースの減速や学生団体のデモ等に伴う政治情勢の不透明感が嫌気され、4.00台まで下落。堅調な米経済指標の結果を受けたグローバルなドル買いと、米中通商問題を背景としたリスクオフが重なり、週後半にかけてもレアル売りの勢いは止まらず、2018年9月以来の水準となる週間安値4.1110を付け、4.0990で越週した。
- 13日(月)発表のブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2019年の経済成長率予想が1.49%から1.45%へ下方修正され、2020年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2019年は4.04%、2020年は4.00%でそれぞれ据え置き。年末の為替レートは2019年は3.75で、2020年は3.80でそれぞれ据え置かれた。
- 13日(月)、中国政府は米国からの一部輸入品に対する関税引き上げを6月1日より適用すると発表。10日に米政府が中国からの輸入品2千億ドル分への追加関税を10%から25%の引き上げたことに対する報復措置と見られている。
- 14日(火)、先週7日(火)～8日(水)に開催されたCOPOMの議事録が公表された。議事録では、世界経済の減速リスクに加え、2019年第1四半期以降も国内の経済活動ペースの減速を予想するとの見方が示された。
- 14日(火)、ゲデス経済相は予算委員会に出席し、ブラジルの2019年経済成長率が、当初の予想を大きく下回る1.5%前後に留まる可能性があるとの見解を示した。
- 15日(水)、米政府は中国通信機器最大手のファーウェイへの輸出規制を発表した。同社は米国から年間約100億ドル規模の部品を輸入しているとされる。

## 3.今週のチャート&ハイライト



### 国内政治・経済動向に関する不透明感が高まる

今週は、国内政治、経済動向に關し様々な動きがあった。13日(月)に司法当局がボルソナロ大統領長男であるフラビオ・ボルソナロ氏の銀行口座の調査を許可したとの報道がなされると同時に、マイヤ下院議長の汚職疑惑も浮上した。15日(水)には教育関連の予算削減に反対する学生団体の呼びかけにより、大規模なデモやストライキがサンパウロのパウリスタ大通りを始めとして、各地で行われた。政権批判を強める材料が相次いで現れたと同時に、ブラジル中銀アナリストによる週次の予想集計では成長率が11週間連続で下方修正されるなど、経済減速懸念も浮上。レアルは対ドルで昨年大統領選挙前の2018年9月末以来の水準となる4.11台まで下落した。



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.90—4.25

来週のレアルは軟調に推移し、4.20台を試す展開を予想する。国外では米国の対中制裁関税やファーウェイに対する制裁措置を背景としたリスクオフにより、新興国通貨全般が売りに押される展開が続こう。国内では特段イベントは予定されていないものの、政治不安と支持率低下を背景に、年金改革法案の先行きを懸念する声が一部の市場関係者から出始めている。過去最安値水準となる4.20台近辺までレアル売りが進行しても不思議ではない。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.25%	0.25%	0.20%
米	先行指數	0.20%	0.20%	0.40%
米	ミシガン大学消費者マインド	97.2	102.4	97.2

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	5/17	登録雇用創出合計	Apr	74400	-43196
ブラジル	5/17	税収	Apr	138301m	109854m
ブラジル	5/20	貿易収支(週次)	May	--	\$2025m
ブラジル	5/20	IGP-Mインフレ第2回 <sup>フ</sup> レピ <sup>ュ</sup>	May	0.64%	0.78%
米	5/21	中古住宅販売件数	Apr	5.34m	5.21m
米	5/22	MBA住宅ローン申請指數	May	--	-0.6%
米	5/22	FOMC Meeting Minutes	May	--	--
ブラジル	5/23	FGV消費者信頼感	May	--	89.5
ブラジル	5/23	FGV CPI IPC-S	May	--	0.42%
米	5/23	新規失業保険申請件数	May	--	212k
米	5/23	失業保険継続受給者数	May	--	1660k
米	5/23	新築住宅販売件数	Apr	677k	692k
ブラジル	5/24	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	May	0.4%	0.7%
ブラジル	5/24	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	May	4.9%	4.7%
米	5/24	耐久財受注(前月比)	Apr	-2.00%	2.60%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方に上て利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。